

2019年4月2日

## 腎臓内科に、過去に通院・入院された患者さんへ

### (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 標準化腎生検組織評価法の確立

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

香川大学医学部・医学系研究科 循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男

(この研究は、大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科を主幹機関とする多施設共同研究として行います。)

[研究の目的] 腎生検は腎臓病の診断およびそれに基づく治療方針の決定に重要な検査の一つです。本研究では、これまで香川大学医学部附属病院腎臓内科で腎生検を受けられた方の腎生検組織プレパラート画像を人工知能を用いて再評価し、血液・尿検査データなどと組み合わせることにより、腎疾患のより正確な診断技術の確立を目指します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014年1月1日から2018年12月31日までに香川大学医学部附属病院で腎生検を行った16歳以上の方を対象としています。

○利用する検体・診療情報

検体：腎生検プレパラート

診療情報：診療情報等(年齢・性別、身長、体重、血圧、病歴、既往歴(高血圧有無、糖尿病有無)、腎生検診断名(臨床診断および病理診断)、腎生検免疫蛍光抗体所見(IgG, IgA, IgM, C3, C4, C1q, Fib)、血液データ(クレアチニン、eGFR、Alb)、尿検査(尿蛋白(g/gCr)、尿潜血)、腎代替療法導入や死亡など腎臓病の予後情報。

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する本学所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、匿名化したデータの一部を大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学へ提供します。

[外部からの検体・診療情報の提供]

該当しません。

[研究組織]

(主幹機関)大阪大学  
香川大学  
愛知医科大学

猪阪 善隆  
南野 哲男  
伊藤 恭彦

愛媛大学	山口 修
大阪南医療センター	安東 豊
大阪ろうさい病院	山内 淳
大津赤十字病院	前田 咲弥子
金沢医科大学	横山 仁
関西ろうさい病院	和泉 雅章
北野病院	塚本 達雄
久留米大学	深水 圭
呉医療センター	高橋 俊介
市立豊中病院	竹治 正展
市立東大阪医療センター	中田 裕人
地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院	鈴木 朗
東海大学	深川 雅史
名古屋大学	丸山 彰一
名古屋第二赤十字病院	武田 朝美
新潟大学	成田 一衛
兵庫医科大学	倉賀野 隆裕
兵庫県立西宮病院	藤井 直彦
広島大学	正木 崇生
藤田医科大学	湯澤 由紀夫
和歌山県立医科大学	重松 隆

[研究代表者]

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科 教授 猪阪 善隆

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

〈主幹機関〉

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号

大阪大学医学部附属病院 腎臓内科 担当医師 松井 功

電話 06-6879-3857 FAX 06-6879-3230

〈香川大学医学部附属病院〉

香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部附属病院 腎臓内科 担当医師 祖父江 理

電話 087-891-5111 FAX 087-891-2152